



Cisco ASA 5585-X のインストール

ASA 5585-X は管理 0/0 および管理 0/1 と呼ばれる 2 つの専用のギガビットイーサネットインターフェイスを備えています。管理インターフェイスは、(through-the-box のトラフィックとは対照的な) to-the-box 宛のトラフィックのみを受け入れることから、コンソールポートと類似しています。

IPS SSP または ASA CX SSP をインストールした場合、ケーブルを IPS SSP または ASA CX SSP 管理 1/0 ポートに接続すれば、IPS SSP または ASA CX SSP のリモート管理とモニタリングが可能になります。これは必須ではありませんが、管理 1/0 ポートに接続しない場合は、ASA 5585-X から IPS SSP または ASA CX SSP へとセッションを開き、アクセスを取得する必要があります。IPS SSP または ASA CX SSP に直接接続しなければ、ネットワーク経由で管理または監視を行うことはできません。

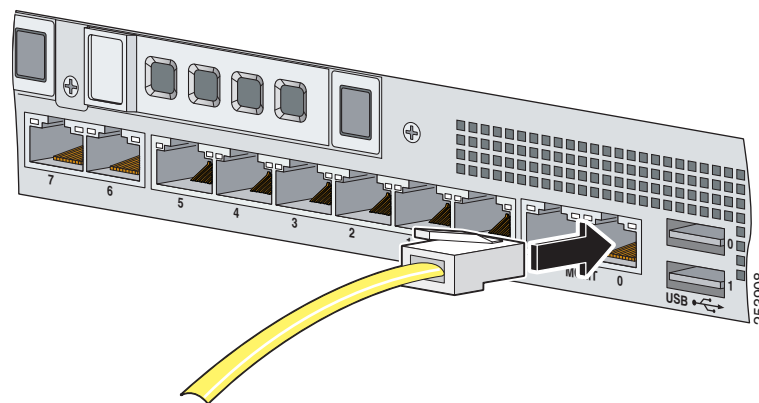
コンフィギュレーションによっては、**management-only** コマンドを使用して任意のインターフェイスが管理専用インターフェイスとなるように設定できます。管理インターフェイス上の管理専用のコンフィギュレーションモードをディセーブルにすることもできます。このコマンドの詳細については、『Cisco ASA 5580 Adaptive Security Appliance Command Reference』の **management-only** コマンドの説明を参照してください。

ケーブルを ASA 5585-X ネットワークインターフェイスに接続するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 安定した平らな面か、またはラック内（ラックマウントする場合）に ASA 5585-X を置きます。

ステップ 2 管理インターフェイス、管理 0/0 に接続します。

- a. 両端に RJ-45 コネクタがついているイーサネットケーブルを用意します。
- b. 管理 0/0 インターフェイスに 1 個の RJ-45 コネクタを接続します。



- c. イーサネットケーブルの逆側の端子をコンピュータまたは管理ネットワークのイーサネットポートに接続します。

**注意**

管理ポートとコンソールポートは、特権付きの管理用ポートです。これらのポートを非信頼ネットワークに接続すると、セキュリティ上の問題が発生する可能性があります。

ステップ 3 (任意) ASA CLI を使用する場合は、SSP コンソールポートに接続します。IPS または ASA CX SSP CLI を使用する場合は、IPS SSP または ASA CX SSP コンソールポートに接続します。

コンソールポートを使用して、コンピュータに接続し、コンフィギュレーションコマンドを入力します。

- a. コンピュータまたはターミナルを任意のポートに接続する前に、シリアルポートのボーレートを確認します。コンピュータまたはターミナルのボーレートは、適応型セキュリティアプライアンスのコンソールポートのデフォルトボーレート (9600 ボー) と一致している必要があります。

ターミナルを次のように設定します。9600 ボー (デフォルト)、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット、フロー制御 (FC) =ハードウェア。



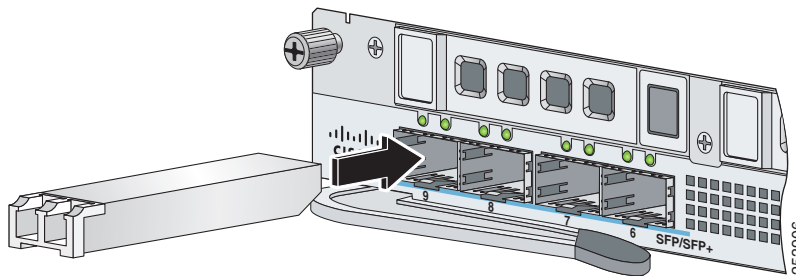
(注) コンソールポートの設定は、SSP、IPS、SSP、ASA CX SSP で同じです。

- b. RJ-45 をコンソールポートに接続し、もう一方の端をコンピュータに接続します。

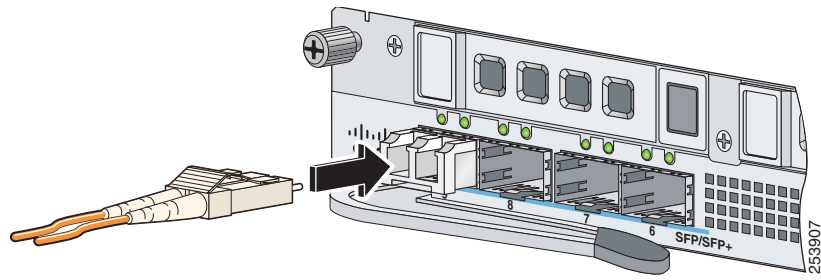
ステップ 4 (任意) ファイバポートを使用する場合は、SFP/SFP+ ポートに接続します。

ASA 5585-X SSP-10 および SSP-20 には 2 つの SFP/SFP+ ポートがあります。ASA 5585-X SSP-40 および SSP-60 には 4 つの SFP/SFP+ ポートがあります。

ファイバポートを使用する場合は、10 ギガビットイーサネット用の SFP+ モジュール (ライセンスが必要になる場合あり) または 1 ギガビットイーサネット用の SFP モジュール (SFP または SFP+ モジュールは含まない) が必要です。



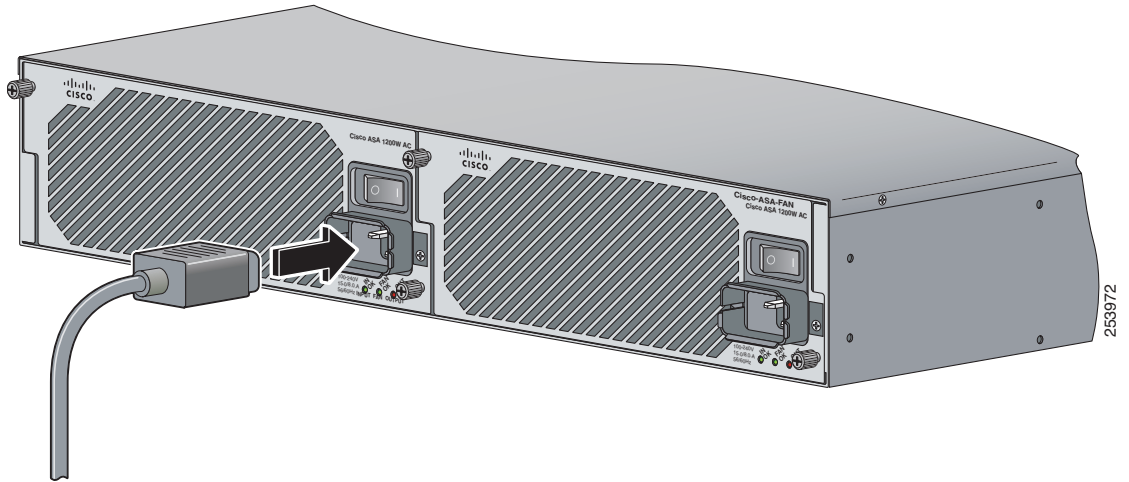
- a. SFP/SFP+ モジュールをインストールします。
b. SFP/SFP+ に LC ケーブルの一方の端を接続します。



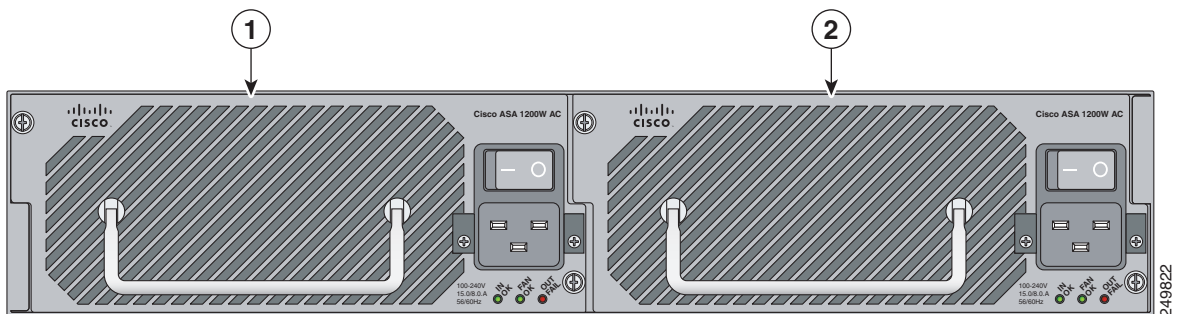
c. LC ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイス（ルータ、スイッチなど）に接続します。

ステップ 5 電気ケーブルを取り付けます。

a. ASA 5585-X の背面にある電源モジュールに電源コードを接続します。



b. 冗長電源モジュールがある場合は、ASA 5585-X の背面に両方の電源ケーブルを接続する必要があります。



1	電源モジュール (PS0)	2	電源モジュール (PS1)
---	---------------	---	---------------

c. 電源ケーブルを電源（UPS 推奨）に差し込みます。

ステップ 6 ASA 5585-X の電源を入れます。

**注意**

アプライアンスの周囲が過熱した状態になると、シャットダウンされるため、再度手動で電源を再投入してオンにする必要があります。

- ステップ 7** ASA 5585-X の前面パネルの PWR インジケータをチェックして、インターフェイス接続を確認します。これは緑色になっているはずです。電源装置の動作を確認するには、前面パネルの PS0 と PS1 のインジケータを確認します。これらは緑色になっているはずです。ASA 5585-X の背面パネルで、IN OK および FAN OK のインジケータが緑色であり、OUT FAIL インジケータがオフになっていることを確認します。